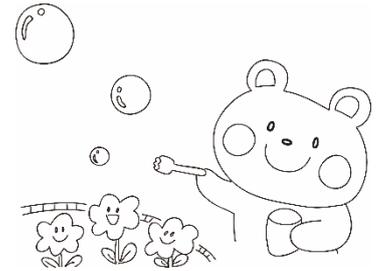


④ まんせいしきゅうたいじんえん 慢性糸球体腎炎



~~~~ どんな病気？ ~~~~

血尿、蛋白尿が半年以上持続する腎炎のことです。

軽いものから腎臓の機能が廃絶して人工透析が必要な状態まで進行するものまで、いろいろな腎炎が含まれます。子どもの時期にみられる慢性糸球体腎炎としてはIgA腎症、しはんびょうせい紫斑病性腎炎、じんえん膜性増殖性糸球体腎炎、まくせいじんしょう膜性腎症などがあります。

~~~~ どんな症状が起こるの？ ~~~~

安定期には自覚症状が何もなく、検査をして初めて血尿や蛋白尿が出ていることがわかります。病気が進行すると、蛋白尿が増えて腎臓の働きが悪くなることで、むくみや高血圧がみられることがあります。また、風邪をひいたときなどに肉眼的血尿（目で見て血液が混ざっていることが分かるほどの血尿）がみられることがあります。

~~~~ どんな治療をするの？ ~~~~

①薬物療法

IgA腎症では病気が進行している場合にはステロイド薬、免疫抑制剤などいくつかのお薬を組み合わせた治療を2年間程度行います。病気が軽い場合には、1~2種類のお薬で治療します。膜性増殖性糸球体腎炎ではステロイド薬を中心とした治療を年単位で継続します。

②生活管理

自覚症状がなく、蛋白尿が1+程度で安定している場合は、軽い運動と中等度の運動ができます。

さらに状態が安定し、蛋白尿が-~±、血尿が1+程度で経過している場合には運動制限は不要になります。

腎臓の病気が進行し、蛋白尿が増加したり肉眼的血尿が持続する場合、むくみや高血圧などの症状がみられる場合には入院治療が必要なこともあります。しかし、症状が安定し主治医からの許可がでたら、他の子どもたちと同じように過ごすことができます。

~~~~ 治る病気なの？ ~~~~

慢性糸球体腎炎は病気が進行して人工透析が必要になる恐れがあるので、しっかり治療をすることが必要です。しかし、運動や食事を必要以上に制限せず、心身の成長を妨げないようにしましょう。